

Smile Action Tokachi



その笑顔が、十勝を動かしていく。

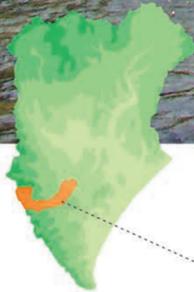
Smile Action From Town #トカチのチカラ

十勝には、自然・食・人々など、たくさんの“チカラ”があります。十勝毎日新聞社では、管内19市町村の活動と情熱にフィーチャーし、未来を担う人たちや取り組み、これからも残していきたい資源など、まちの魅力を徹底報道します。

中札内村のチカラ



Photo: ヒョウタンの滝



NAKASATSUNAI

DATA

●人口 2021年7月末時点

3,935人

●村の木 カシワ

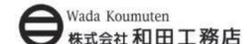
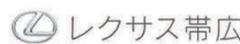
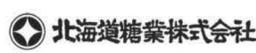
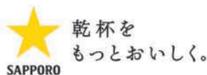
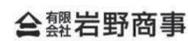
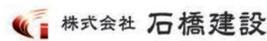
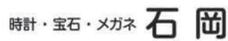
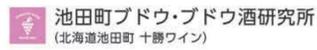
●村の花 スズラン

●村の鳥 ヒバリ

●村名の由来

アイヌ語で「サチナイ」(乾いた川の意)であり、本村は、札内川中流に位置するので「中」を冠し、中札内と命名した。

「Smile Action Tokachi」に、ご協賛いただいたみなさま



雄大な日高山脈の麓で安らぐ



実行委が8月に実施したツアーで、札内川ダムを見学する村内の子供ら



日高山脈の麓広がる広大なキャンプサイト



「村民が関心をもち続けることが大切」と話す森田さん

さあ国立公園化 村民もPR活躍

山への「愛」で一丸 実行委組織し地元盛り上げ

日高山脈は雄大な山脈であり、眺めるものもさながら、清らかな札内川の流域に広がる小さな盆地が中札内村です。まじりの盆地は、かつては「美しい村」が数多くあり、村民が誇りを持って「美しい村」を築き上げてきた。しかし、近年は人口減少が進み、村民の関心をもち続けることが大切と話す森田さん。



尾 村民向けの勉強会や体験会を主催している。森田さんは、地域や産業、消防の分野で活躍している。また、森田さんは、地域や産業、消防の分野で活躍している。また、森田さんは、地域や産業、消防の分野で活躍している。



注目CF型ふるさと納税 返礼はグランピングや特産

村が3月から、ふるさと納税制度を活用した事業。CF型の形を取り、村内での新規出店や事業拡大など、村の活性化につなげる活動を実施している。



「AOILO KITCHEN」提供のロケットキッチンメニュー。左が揚げ出し餅

「自然慈しみ楽しむ場」 知名度向上で新規客7・8割

同キャンプ場は、村の地域を約1時間、車で行くことができる。おし協力隊を卒業した堀山さんと、山田さんが設立した「AOILO」が、自然を大切にし、楽しむ場を提供している。

民間運営で快適に、食も発信

札内川園地キャンプ場



景観に溶け込むスノーピーク社の「住箱」

管理の「AOILO」梶山代表 地域協力隊から転身

梶山はコロナ禍の影響もあって、所を避けられるアウトドア人気が高まっている。村内の札内川園地キャンプ場(南札内)も、もてなまは、もちろん普段から、地元の家産物や土産物の販売もしている。

農業、芸術を核とした「美しい村」

日高山脈がシリウス形の雄大な山容を飾り、清らかな札内川の流域に広がる小さな盆地が中札内村です。まじりの盆地は、かつては「美しい村」が数多くあり、村民が誇りを持って「美しい村」を築き上げてきた。

中札内村長 森田 匡彦



業の村で、土へのこだわりが強い。2014年の開村以来、基礎産業の発展とともに歩んでまいり、10年を過ぎた。10年を過ぎた。10年を過ぎた。10年を過ぎた。



音楽核として文化の村づくりを推進する「フアンタオ」の取り組み。音楽核として文化の村づくりを推進する「フアンタオ」の取り組み。

All you need is "Nature".

FISHING: 清流「札内川」の釣りは、大人気の釣り場。美しい自然の中で、釣りの楽しさを味わってください。

PIZZA: 人気店「ピザ」が、地元産の食材を使用したピザを提供しています。

CAMP: 山に囲まれ、札内川のせせらぎを聞きながら過ごす、絶景キャンプ。最高の癒し空間が広がります。

WINE: キャンプの休日に、ソムリエ厳選のワインも楽しめます。

ROAST CHICKEN: キャンプ場には、地元産の鶏肉を使用した、絶品チキンが楽しめます。

日高山脈標葉国立公園 札内川園地 北海道河西部中札内村南札内713

お問い合わせはこちら 0155-69-4378 営業時間/9:00~17:00

AOILO

「美味しいと楽しいがいっぱい」
-nahasatsunai-

道の駅なかさつない

中札内村大通南7丁目14番地 Tel.0155-67-2811

遊ぶ: 自然に囲まれてワクワクする!

見る: 豆資料館や開拓記念館で楽しく見学!

食べる: テイクアウトも充実!

買う: 村の特産品をGETしよう!

Let's go!



みてコレ!
 のどかな風と大きな空
 レンタサイクル「ピーチャリ」

4月末ごろから10月31日までの午前9時〜午後5時の道の駅なかさつない「カントリーブラザ」で貸し出しをしています。電動アシスト自転車2時間200円、普通自転車と小輪自転車は4時間200円。環境にも優しく、四季折々の景色や風土も直接感じられます。車では味わえない中札内の風土をのんびり感じて欲しい野口さん。



みてコレ!
 季節の絶景を味わって
 おすすめ中札内の撮影スポット

「レンタサイクル ピーチャリ」の周遊モデルにもなっている、札内川沿いの撮影スポット。雄大な日高山脈や地平線、広い空が見渡せ、思わず立ち止まって深呼吸したくなります。同じ場所でも季節や時間帯によって、違う景色になります。パンフレットを見ながら、お気に入りのスポットを見つけたいと町田さん。



みてコレ!
 地元食材がもりだくさん
 道の駅グルメ「ピータン丼」

村のマスコットキャラクタールから名付けた人気の「ピータン丼」。中札内の特産品である卵・枝豆・田舎どりを使用し、野菜まで地元食材にこだわった丼ぶり。中札内たまごを絡めて揚げたむね肉に甘辛ソースがかり、ご飯との相性も抜群! 道の駅なかさつない「千サルパトレ」で550円で販売しています。

とっておきの魅力 教えます!!



みてコレ!
 十勝
 わがまち
 自慢

町田仁志(まちだ・ひとし、写真右)

1960年生まれ、東京都出身。20代からカメラマンとして活動し世界各国を飛び回る。コロナ禍で海外への移動が厳しいことや、日高・大雪の山々に魅力を感じ4月に着任。日高山脈襟裳国定公園の国立公園化にもなって、中札内村の観光協会でのPR活動に力を入れる。今後は、中札内や日高山脈の四季の移り変わりを、写真展の開催やホームページ・パンフレットを使って、発信していく。

野口京子(のぐち・きょうこ、写真左)

1974年生まれ、大阪府出身。旅行会社に勤務し、添乗員として北海道を案内した体験から、北海道への憧れや地域活性化に興味をもち4月に着任。来年に向けて、サイクリングコースを企画。サイクルツーリズムの推進を目指している。

「地元の人にとっては何気ない景色が全て絵になる」と野口さんは言います。豊かな自然に囲まれた土地は、どこか懐かしさも感じられ、壮大な日高山脈や農村風景に心打たれます。旅行をきっかけに、4月から地域おこし協力隊として活動する二人は、中札内の魅力はなにより「美しい自然だ」と言います。特に季節によって表情を変える日高山脈がお気に入り。世界中を旅した経験のある町田さんは「札内川の澄んだ水と肥沃なひよくな土壌は世界的に見てもとても貴重。空港まで車で15分という立地も、文明と自然が調和している中札内ならではのです」と語ります。

自然を体験するには「レンタサイクル ピーチャリ」がおすすめ。野菜や乳製品など、食べ物も絶品。野口さんは「中札内の食材を使ったランチが食べられるお店を巡り、地元の人と触れ合えるのも楽しいです」と笑顔を見せます。また、日高山脈襟裳国定公園の国立公園化のPRとして、町田さんが撮影した中札内から見た日高山脈の巨大写真を9月中旬から、とち帯広空港2階出発ロビーで展示します。町田さんは「日高山脈の絶景スポットとして多くの人に中札内の魅力を伝えていきたい」と意気込んでいます。

みてコレ!
 日高山脈の雄大さと
 魅力あふれる地元食材
 に心も体も癒やされる

中札内村ふるさと納税型クラウドファンディング

「日本を代表する一流シェフが、その食技術を北海道、十勝へ!!人口3,900人の小さな村の大きな挑戦」



大人気の返礼品!!
 三種の冷燻マヨネーズ

寄付額3,000万円を突破!!

全国から中札内村に多数の支援が集まっています!小さな村のビッグプロジェクトにご期待ください!



食の魔法「冷燻」の魅力で、北海道十勝・中札内村を盛り上げたい。



グランピングリゾート「フェリエンドルフ」
 〒089-1368 北海道河西郡中札内村南常盤東4線
 Tel: 0155-68-3301

LINE友達登録で
 お得な情報発信中!!
 登録はこちらのQRコードから

